

年

組 名前

教材1-B-(1)**正負の数の加法**② 『 $(-5) + 4$ 』の解決のために

$(-5) + 4 = (-5) + (\quad)$ $= -(\quad)$ $= -1$	異符号の加法の計算では 絶対値の大きいほうから \quad ほうをひき、 絶対値の大きいほうの \quad をつける。
---	---

たしかめよう

次の計算をしなさい。

① $(-6) + 4 =$

② $(-6) + (-4) =$

③ $(-6) - 4 =$

④ $(-6) - (-4) =$

⑤ $-22 + 35 =$

⑥ $\frac{2}{3} - (-\frac{8}{3}) =$

教材1-B-(2) 正負の数の加法

① 『 $(+2)+(-9)$ 』の解決のために

$$(+2)+(-9)=-(\quad)$$

$$=-7$$

いふごう
異符号の計算では、絶対値の大きいほうから
 ほうをひき、絶対値の大きいほうの
 をつける。

数直線を使って考えると
 $+2$ は正の向きへ2動く
 -9 は負の向きへ9動く

よって、 $(+2)+(-9)$
 $=$

たしかめよう

次の計算をしなさい。

① $(+4)+(-5)=$

② $-18+2=$

③ $(+7)+(-9)=$

④ $-14+(+6)=$

年

組 名前

教材1-B-(3) 正負の数の加法① 『 $(-7) + (+3)$ 』の解決のために

$(-7) + (+3) = - (\quad)$ $= -4$	<p>○異符号の加法の計算では 絶対値の大きい方から</p> <p><input type="text"/>方をひき、</p> <p>絶対値の <input type="text"/> 方の 符号をつける。</p>
------------------------------------	---

たしかめよう

次の計算をしなさい。

① $-8 + 4 = (\quad) + (\quad)$

=

=

② $5 - 7 = (\quad) + (\quad)$

=

=

③ $-\frac{5}{2} + \frac{7}{3} = (\quad) + (\quad)$

=

=

年

組 名前

教材1-B-(4)**正負の数の加法**① 『 $(-9) + (+4)$ 』の解決のために

$$(-9) + (+4) = -9 + 4$$

←かっこをはずす

$$= - (\quad)$$

←異符号の加法の計算では絶対値の大きい方から小さい方をひく

$$= -5$$

←絶対値の大きい方の符号をつける。

たしかめよう

問 次の計算をなさい。

① $(-9) + (+6) =$

② $(+6) + (-3) =$

③ $(-7) - (+2) =$

④ $(+3) - (-3) =$

⑤ $(-8) + (+8) =$

⑥ $(-12) - (-21) =$

チャレンジ

⑦ $(-\frac{1}{3}) + (-\frac{5}{6})$

=

⑧ $(-\frac{3}{4}) - (-\frac{2}{3})$

=